

2022. 10. 3

< 配信枚数2枚 >

報道関係者 各位

大学の英語授業に AI 自動翻訳サービスを試験導入**学生・院生約 5,000 人を対象に、翻訳ツールを用いて新しい英語教育の可能性を検証**

立命館大学は、「学校法人立命館と株式会社 NTT ドコモとの連携協定^{*1}」のもと、株式会社 NTTドコモのグループ会社である株式会社みらい翻訳（東京都渋谷区、代表取締役社長：鳥居 大祐）が提供する AI 自動翻訳サービス「Mirai Translator^{®*2}」（以下、本サービス）を、「プロジェクト発信型英語プログラム」の英語授業において、約 5,000 人の学部生・大学院生を対象に、2022 年 9 月 26 日（月）より試験導入を開始しました。

本サービスを大学の正課の英語授業で、利用に一切の制限を設けず、導入するのは日本初（みらい翻訳調べ）の試みとなります。

近年、グローバル化が進み、英語を日常的に利用する企業が増える中、学生が英語を習得する意義も、インプット型から「使えるアウトプット型英語」へと進化しています。あわせて、技術の進歩とともに、母国語を軸に多言語コミュニケーションを円滑に行うことができる翻訳ツールも登場し、言語習得そのものに時間をかけずに、コミュニケーションスキルを高めることのニーズも高まっています。

本取り組みは、AI 自動翻訳ツールを大学の英語授業で利用することで、学習成果や学生の心理面などにどのような変化が生じるかを検証します。英語スキル不足による学習への不安感を払しょくさせ、本来習得すべきプレゼンテーション能力の向上や、アウトプット精度の向上など、社会で使える英語スキルを、学生自身が能動的に体得することを目指します。

■英語学習支援用 AI 自動翻訳サービス「Mirai Translator[®]」について

試験導入期間：2022 年 9 月 26 日（月）～2023 年 3 月 31 日（金）

利用想定人数：約 5,000 人

対 象：①「プロジェクト発信型英語プログラム」を受講する学部生
（生命科学部、薬学部、スポーツ健康科学部、総合心理学部）
②以下の大学院に所属する大学院生
（生命科学研究科、薬学研究科、スポーツ健康科学研究科、人間科学研究科）

*1 「学校法人立命館と株式会社 NTT ドコモとの連携協定」に関する報道発表

https://www.docomo.ne.jp/info/news_release/2020/08/25_00.html

（ドコモグループの法人事業の統合により、現在は学校法人立命館・株式会社 NTTドコモ・NTT コミュニケーションズ株式会社の 3 社間連携協定となります）

*2 Mirai Translator [®]の一部は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の研究成果を利用し、株式会社みらい翻訳にて製品化したものです。

**本リリースの配布先： 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
文部科学記者会**

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当：名和 TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsume.ac.jp

別紙

■本取り組みの趣旨および今後の予定について

本取り組みは、2022年5月、立命館学園の中期計画「学園ビジョン R2030 チャレンジ・デザイン」で掲げる「テクノロジーを活かした教育・研究の進化」を体現するために実施した「教育開発 DX ピッチ」で優秀賞を受賞しました。新しい英語教育の形を模索し、改善し、成長し続けることをモットーに、生命科学部の山中司教授、木村修平准教授、山下美朋准教授、薬学部の近藤雪絵准教授をはじめとする英語教員がプログラムを企画推進しています。

今後は、週1回の英語授業や自習等、学生が自ら日常的かつ自由に利用し、メタバース空間「NTT XR Space Web(DOOR)」(※)との併用なども視野に取り組みを進め、2023年2月頃に本実証の報告会を行う予定です。

(※) 専門英語科目「英語 JP1 (Junior Project1)」において、NTT が提供する XR 空間プラットフォームを活用(2022年7月) <https://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=2709>

■株式会社みらい翻訳について

AI 自動翻訳及びサービスの開発、販売・運営・保守業務を主に担う、ドコモのグループ会社。OEM やオンプレ提供も含め、現在 60 万 I D・1000 社以上の翻訳ニーズを支えています。

<https://miraitranslate.com/>